

欄に記入してください

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

エア・ウォーター株式会社 広島第2ガスセンター

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市吉川工業団地7-10

(3) 業種

圧縮・液化ガス製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、令和5(2023)年度を基準年度とし、令和6(2024)年度の1年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 実排出量総計							
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

エネルギー消費原単位 = エネルギー使用量(kl) / 製品供給量(kNm³)

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比(e))				
	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和6年度 (2024)				
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 排出量総計							
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	0.0578	0.0572 1.0	0.0577 0.2				
実績に対する 自己評価	基準年度(2023年度)に比較して目標年度(2024年度)の顧客ガス需要に伴う供給量増加への適宜調整を図ったが、原単位は0.2%低減に留まった。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	弊社広島ガスセンター・広島第2ガスセンター・広島第3ガスセンターについて、全体でのエネルギー消費原単位を低減	基準の令和5(2023)年度比での令和6(2024)年度の実績 ・左記のエネルギー消費原単位：3.3%増加 ・広島ガスセンターの原単位悪化を広島第2ガスセンター・広島第3ガスセンター合せた全体で緩和した状況	・プラント適正稼働及び運転(随時：供給量に対しての消費電力の調整) ・大型圧縮機の吸込フィルター清掃または交換(年毎：圧損低減) ・送風機の駆動ベルト増張または交換(月毎：機械損の低減) ・冷却水ポンプ、冷却塔ファンの余剰運転停止(冬季随時) ・自社生産液化窒素の有効活用によるエネルギー原単位の改善活動 ・事務室、不要照明、冷暖房、事務機器の適正管理および不要時停止
2	(会社としての取組み)エネルギー消費原単位の低減	—	・今後のプラント建設において高効率プラント化を進める事による全社での中長期的なエネルギー原単位低減を目指している
3			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	ガスセンター5S活動	—	1ヶ月毎以内での実施を継続
2	環境ISO活動	環境マネジメントシステムの定着	環境マネジメントプログラムの作成、実行
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。